

1 (柱01)一人一人に応じた最適な学びを提供する

成長の基盤となる資質・能力の育成（豊かな心の育成）

平和教育の推進

幼児児童生徒の発達段階を踏まえ、戦争の悲惨さや核兵器の非人道性、平和の尊さを実感をもって理解させるよう「県民祈りの日」を中心とした平和教育の充実に努める。

ながさきならではの地域資源を活かした体験活動の提供

障害のある子供の活躍応援事業（5,768千円）（事業期間：令和5年度～）

キャリア検定の実施を通して特別支援学校の生徒が卒業後の進路に主体的に向き合う意欲の向上を図る取組を推進するとともに、スポーツのイベントや体験活動を通して企業等との相互理解を深め、新たな職域への就労の可能性を広げる取組を推進する。

- キャリア教育推進プロジェクト
 - ・障害のある生徒の雇用に関する企業向けフォーラムの開催
 - ・キャリア検定「清掃」「事務アシスタント」「アノテーション」の実施
- スポーツふれあいプロジェクト
 - ・スポーツ体験プログラムを通じた企業との関係づくり
 - ・スポーツ体験活動等を通して特別支援学校の生徒の自己肯定感や意欲を高める。



スポーツ体験活動の実施

インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の推進

特別支援学校の環境整備

- 西海市立大瀬戸中学校内に鶴南特別支援学校の小・中学部西彼杵分教室を設置し、西彼杵高校内に設置されている高等部と併せ分校化【令和7年4月開設】
- 対馬市立厳原中学校内に虹の原特別支援学校の小・中学部対馬分教室を設置し、対馬高校内に設置されている高等部と併せ分校化【令和9年4月開設】

発達教育指導事業（5,488千円）

発達障害等のある子どもへの障害特性に応じた適切な指導及び必要な支援を充実させるとともにインクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の充実を図る。

- 特別支援学校のセンター的機能の充実を図るため、教職員の資質向上を図るための研修を行う。
 - ・医学や心理学などの専門的視点から助言を得る外部専門家活用の実施

【特別支援教育課】

○発達障害等のある子どもへの指導や支援を行う教職員の資質を高める。

- ・ 中学校、高等学校の進路指導担当者等を対象とした特別な支援を必要とする生徒のキャリア教育の実践力を高めるためのキャリア・マネジメント研修の実施
- ・ 保育所、幼稚園、認定こども園及び小、中、高等学校の教職員を対象とした発達障害等に係る基礎的な事項や基本的な関わり方についての研修の実施
- ・ 発達障害児等教育支援連絡協議会の開催
- ・ 教育支援チームを活用した早期からの市町教育委員会の就学に向けた教育相談の充実

障害のある子どもの医療サポート事業（115,088千円）

特別支援学校において、医療的ケアを必要とする子どもの安全・安心な学校生活を確保するため、必要な特別支援学校に医療的ケア看護職員を配置し、医療的ケア体制を整備する。

また、通学時の保護者負担の軽減を図るため、通学車両に同乗し、ケアを行う医療的ケア通学支援看護職員を配置

[令和7年度] 配置人数： 6名・・・医療的ケア通学支援看護職員

[令和7年度] 配置人数： 22名・・・医療的ケア看護職員

高等学校における特別支援教育支援員活用事業（21,568千円）

必要とする高等学校に特別支援教育支援補助員を配置し、教職員と連携して特別な教育的支援が必要な生徒の学習活動や学校生活上等の支援を行うことにより、高等学校における特別支援教育の充実を図る。

[令和7年度] 配置人数： 10名

障害のある子供の活躍応援事業（5,768千円）【再掲】

2（柱03）生涯にわたり誰もが学び、活躍できる地域づくりを推進する

地域と学校の未来をつくる活動の推進

学校評議員運営事業（572千円）

学校や地域の実情に応じて、学校運営に関し、保護者や地域住民の意向を把握・反映する学校評議員制度の活用を推進する。

[令和6年度] 特別支援学校17校に配置（延べ58名）

第二期長崎県特別支援教育推進基本計画 第二次実施計画（令和7～9年度）の概要

1 特別支援学校の環境整備と教育の充実

(1) 特別支援学校の環境整備

- ① 児童生徒数増加等への対応
 - 特別支援学校における教室確保策の検討（佐世保特支、島原特支）
 - 時和特別支援学校西彼姓分校及び虹の原特別支援学校対馬分校の設置と教育環境の整備

(2) 特別支援学校における教育の充実

- ① 視覚障害教育、聴覚障害教育の充実
 - 盲学校及びろう学校における教育の在り方と充実に関する研究
 - ② 自立活動の指導の更なる充実
 - 知的障害のある児童生徒に対する自立活動の指導事例データベースの作成と活用
 - ③ 教科指導の更なる充実
 - 知的障害のある児童生徒に対する教科の段階・内容ごとの教材やスライドデータの共有
 - 教科指導の充実に向けたチーム・ティーチングの在り方と授業改善に関する研究
 - 教習センターの教科指導力向上に係る研修受講の促進
 - 遠隔教育センター（仮称）を活用した専門性の高い授業及び授業研究の実施
 - ④ 医療的ケアの更なる充実
 - 医療的ケア児が安全・安心に通学するための通学支援の実施体制の構築
 - 県医療的ケア児支援センターと連携した小・中学校に配置されている医療的ケア看護職員に対する研修や相談会の実施
 - ⑤ 強度行動障害や精神疾患等のある児童生徒への適切な指導や支援の充実
 - ⑥ 多様な進路実現を目指した取組の充実
 - 新たな「長崎県特別支援学校キャリア検定（種目：アノテーション）」の実施
 - ⑦ 企業と学校との相互理解に向けた取組の充実
 - キャリア教育や職業教育の充実に向けた各種経済団体との連携
 - 特別支援学校PR動画の制作と活用（特別支援学校魅力発信プロジェクト）
- ### (3) 地域とともにある特別支援学校
- ① 県内各地区の特別支援教育のセンター的機能の強化
 - 特別支援教育コーディネィネーター連絡協議会と県教育委員会が連携した研修会の実施



3 特別支援教育に携わる教職員の専門性の向上

(1) 免許保有率向上の取組

- ① 特別支援学校の教員の特別支援学校教諭免許状の取得促進
- ② 小学校等の教員の特別支援学校教諭免許状の取得促進

(2) 人的配置の工夫による専門性の向上

- ① 指導教諭の効果的な活用
- ② 研修交流を活用した小・中学校等における特別支援学級、通級による指導の充実

(3) 特別支援教育に関する研修

- ① 特別支援学校の教員の専門性向上
- ② 小学校等の全ての教職員を対象とした研修の実施
 - 小学校等の特別支援学級担任や通級指導教室担当に対する教育課程説明会等の受講促進



2 幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校における特別支援教育の充実

(1) 幼稚園等における特別支援教育の充実

- ① 全ての教職員を対象とした研修の実施
 - 県幼児教育センターと連携した特別支援教育研修会の実施

(2) 就学に向けた相談支援体制の充実

- 5歳児健診等を活用した保護者への就学に関する情報発信の推進
- 市町ごとも部局の参加を促した就学担当者等研修会の実施
- より実践的で具体的な「就学相談スキルアップ研修会」の実施

(2) 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校における特別支援教育の充実

- ① 全ての教職員を対象とした研修の実施
 - 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒の進路指導研修会の実施
 - （発達障害等教育支援研修会＜キャリア・マネジメント編＞）
- ② 特別支援学級や通級による指導の充実
 - 特別支援学級充実のための研修交流の実施（特別支援学校未設置地区）
 - 特別支援学級等指導力向上事業（学校訪問）の実施
 - 高等学校通級指導力向上事業（学校訪問）の実施
 - 高等学校における通級の巡回指導の実施
- ③ 特別支援教育の推進に向けた計画的な人材育成
 - 困難事例に対応する相談支援体制の充実



4 関連する諸課題への対応

(1) ICT活用等による特別支援教育の質の向上

- ① 特別支援学校のICT活用に関する研修の実施
 - 学習者用デジタル教科書の活用や知的障害のある児童生徒のICT活用の研究
 - 情報モラル教育充実のためのGIGAワークブックながさきの活用

(2) 学校外の人材や関係機関等との効果的な連携及び地域におけるネットワークづくり

- ① 医師、理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士等の外部専門家の活用
 - 外部専門家活用の好事例集の作成と活用
- ② 保護者等支援の推進
 - 就学や学びの場などの情報を周知するためのリーフレットの作成と活用
 - ながさき県民大学と連携した幅広い世代の方々を対象とした特別支援教育セミナーの開催
- ③ 福祉等の関係機関との連携

(3) 障害のある幼児児童生徒の活躍の場の拡大と生涯学習支援

- ① 障害のある幼児児童生徒のスポーツや芸術文化活動への更なる参加の促進
 - 美術館等の関係機関や関係団体等と連携した表現の機会や活躍の場の創出

(4) 社会に開かれた特別支援教育を推進するための積極的な情報発信

- ① 社会に開かれた特別支援教育を推進するための情報発信の充実
 - 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入の検討

